



平成27年度 中央区まちづくり会議
市電部会活動概要等及び意見集

平成 28 年(2016 年)3月

中央区まちづくり会議市電部会

目次

1 平成27年度市電部会の概要	2
2 平成27年度活動内容	
(1) 第1回市電部会	2
(2) 現地視察会	3
(3) 第2回市電部会	3、4
(4) 第3回市電部会	5
3 意見集	
(1) 第1回市電部会からの意見	5、6
(2) 現地視察会からの意見	6、7
(3) 第2回市電部会から市電の冊子作成についての意見	7、8、9
(4) 第3回市電部会からの意見	10
(5) 貸切電車イベントからの意見	10
4 平成28年度市電部会の予定	11

1 平成 27 年度市電部会の概要

平成 27 年度は、これまでの意見を分析、検討したうえで、乗客数、沿線への訪問客数の増加のための具体的方策について、意見交換を行いました。

今後作成する予定でいる市電に係る冊子については、部会で初めてグループに分かれてのワークショップ形式での話し合いを行いました。

また、前年度と同様、学校、各団体、商店街などと連携した、地域を散策する現地視察会も行いました。

2 平成 27 年度活動内容

(1) 第1回市電部会

ア 日時 平成 27 年8月3日(月)午後3時～5時

イ 場所 中央保健センター 講堂

ウ 議事内容

- ・ 市電ループ化の進捗状況
- ・ 平成 27 年度市電部会について
- ・ 「沿線6小学校連携企画」小学校のまちづくりデザインプロジェクト進捗状況について

エ 参加者 (38 名)

- ・ 連合町内会関係者
- ・ 市電の会会長
- ・ 大通まちづくり株式会社統括部長
- ・ 市民まちづくり局路面電車活用担当課長、調整担当課長ほか職員
- ・ 中央区長、市民部長、地域振興課長ほか職員
- ・ 苗穂まちづくりセンター(以下「まちセン」という。)所長、西まちセン、大通まちセン、東北まちセン、山鼻まちセン、西創成まちセン、幌西まちセン所長



(2) 現地視察会

ア 日時 平成 27 年 10 月 10 日(土)午前 8 時 50 分～12 時

イ 場所 すすきの電停→電車事業所→行啓通電停→沿線視察→中島中学校

ウ 視察会内容

- ・ すすきの電停から新型低床車両に乗り、若手プロジェクト横山職員より、開催趣旨、高石職員より1日の予定等の説明が行われた。車窓からの景色を楽しむ他、ポラリスの運転席や手すりの位置など車内を様々な視点より観察。
- ・ 電車事業所で下車後、整備工場を見学、古くからの車両やササラ電車等の説明を交通局職員から受けた。
- ・ 行啓通電停で下車し、行啓通商店街、山鼻屯田記念会館、誓願寺、喜久一本店、元祖雷除志ん古を散策。
- ・ 中島中学校で若手プロジェクト高木職員が司会を務め、市電にのって「沿線商店街」に多くの人たちが来てもらうにはをテーマに意見交換会。

エ 参加者 (33 名)

- ・ 連合町内会関係者
- ・ 柏中学校教諭(1名)・生徒(5名)、中島中学校教諭(1名)・生徒(8名)
- ・ 中央区市民部長、地域振興課長ほか職員
- ・ 西創成、山鼻、幌西セン所長



【ポラリスの前での記念撮影】



【中島中学校での意見交換会】

(3) 第2回市電部会

ア 日時 平成 27 年 12 月 8 日(火)午後 3 時～5 時

イ 場所 中央保健センター 講堂

ウ 議事内容

- ・ 「小学生のまちづくりデザインプロジェクト」資生館小学校での総合学習について (※印参照)
- ・ 市電ループ化の開業について

- ・ 市電部会現地視察会について
- ・ ワークショップ形式での話し合い(進め方の説明、市電冊子の目次等作成および発表)

エ 参加者 (35 名)

- ・ 連合町内会関係者
- ・ 市電の会会長
- ・ 大通まちづくり株式会社統括部長
- ・ 市民まちづくり局総合交通計画部調整担当課長ほか職員
- ・ 交通局高速電車部電車業務係長
- ・ 中央区長、市民部長、地域振興課長ほか職員
- ・ 本府・中央、東北、苗穂、西創成、幌西、西、円山、桑園まちセン所長

※「小学校のまちづくりデザインプロジェクト」の一環として平成 27 年 9 月 12 日に実施された資生館小学校「PTA フェスティバル」に中央区長が参加



【部会で初めてワークショップ形式での話し合いをしている様子】



(4) 第3回市電部会

ア 日時 平成 28 年 2 月 15 日(月)午後 3 時～5 時

イ 場所 中央保健センター 講堂

ウ 議事内容

- ・ 開業式典および開業後の報告について
- ・ 平成 27 年度市電部会の活動内容などについて
- ・ 市電冊子の作成について
- ・ 貸切電車イベントについて

エ 参加者 (34 名)

- ・ 連合町内会関係者
- ・ 行啓通商店街振興組合役員
- ・ 大通まちづくり株式会社統括部長
- ・ 市民まちづくり局路面電車活用担当課長ほか
- ・ 交通局高速電車部電車業務係長
- ・ 中央区長、市民部長、地域振興課長ほか職員
- ・ 本府・中央、東北、苗穂、西創成、山鼻、幌西、西、円山まちセン所長

3 意見集

第 1 回市電部会から

- ・ 総合学習について、現在資生館小学校が、先行してプロジェクトを進めているが他の 5 小学校にも総合学習を進めて行ってほしい。
- ・ 地元の商店街などで、買い物や飲食をすれば、スタンプがもらえて、それを貯めれば電車代がただになるような奇抜なアイデアも必要。
- ・ イベントや広告などラッピング車両が、最近とても多いが、風情や景観の観点から昔ながらの車両もきちんと残して、走らせる必要がある。
- ・ 昔みたいに花電車を走らせれば、乗ったことのない今の小中学生やお年寄りが懐かしがり、また違った市電に魅力を感じてもらえる。
- ・ ループ化でできる新停留場内に外国人向けの案内所を設けては、どうか。
- ・ 狸小路は、今、外国人観光客が多くいることから、このような人たちに、中央区の観光スポットに足を向けてもらえるよう取り組みも必要。
- ・ 札幌には、観光客がかなり、増えていると思われるので、観光業界と市は、タイアップして何か取組んでいくべき。

- ・ 各停留場に設置されている停留場モニターは、利用者にとって大変好評である。
- ・ 新車両を入れる際には、現ポラリスの車両に変更し乗っている人が、景色や視線も広々と見えるような窓にするべき。

現地視察会からの柏中学校と中島中学校の意見

【中島中学校学生】

- ・ 市電に乗って、商店街に行ったら、特別サービスが受けられるような仕組みをつくってはどうか。
- ・ 子どもに興味を持ってもらうために、4コマ漫画やイラストを作ってポラリスのパンフレットを作成。
- ・ HPで「ポラリスに乗って旅をしよう」というような紹介するなどの工夫した宣伝広告を作る。
- ・ ポラリスのイメージキャラクターを作る。
- ・ 市電に乗ってスタンプラリーなどのちょっとしたイベントを企画。
- ・ ポラリス内のモニターで商店街、お店イベント等の広告をする。
- ・ ポラリスは、揺れが少なく段差も小さいので、子ども、おじいちゃん、おばあちゃんなど広い世代を対象にしたイベントを車内で開催。
- ・ 運転手さんだけが知っている沿線情報等をポスターにする。
- ・ 市電の沿線商店街に協力してもらい沿線のおいしいお店や名店を紹介、イベントをする。

【柏中学校学生】

- ・ 商店街のイベントの日時を記載したパンフレットを各家庭に配布、ポスターを学校に掲示する。
- ・ 市電は窓が小さく、座席が窓に背を向けているので、窓を大きくして座席を窓に向け、風景を楽しめるようにする。
- ・ 停留場やポラリス内のモニターで商店街のイベントやお店の紹介をする。
- ・ ポラリスの向かい合っている展望席について、2人で乗ると楽しく会話ができるが、1人の場合は、次の人は座りづらい、そこでJRの座席のように、背もたれを動かして座る向きを変えられるようにする。
- ・ 札幌駅まで、延伸すると利用者が増える。
- ・ 市電がエコであることをもっと宣伝する。

- ・子どもたちが、外で遊ぶように沿線の公園や公園でのイベントを紹介するマップを作る。
- ・市電の歴史を分かってもらうため、古い電車を走らせる。
- ・ＩＣカードや新型車両など市電の大きな変化（便利になったこと）を宣伝する。
- ・市電が地下鉄より、優れているのは、外の景色が見られることである。商店街と協力して、古いお店のその良さ、新しいお店は、美しさを外観に出すと景色がいいということが話題になり、市電が一つの観光スポットになる。
- ・冬だったら雪、夏だったら緑というように沿線の自然を活かすと、いろいろな地域から人が、集まってくる。

第２回市電部会からワークショップ形式での話し合いより各グループの意見（市電の冊子作成について）

・【横山若手職員グループ】

- ・市電の優位性を伝えていけるような冊子を作る。（交通の便とか風景とか地下鉄やバスには、ない魅力を伝えられたらといい）
- ・冊子の対象としては、観光客や札幌市以外の人を対象に考えたものにする。
- ・切符と電子ボードの見方について、説明書きを書いた方がいいのではないか。（地下鉄、市電、札幌市内には、いろいろな切符があるが、不便という声もあることから、分かりやすいように冊子で紹介する）
- ・早見表を作る。（ループ化によって、どこの駅から乗った時、目的地にどっち周りで行ったらいいのか、どれぐらい時間がかかるのかなど）
- ・市電のモデルコースを何個かあげる。（内容は、観光スポット巡り、食べ物巡りなど）
- ・外から見る市電を紹介する。（例えば、雪ミク電車がすごく映えて見えるスポット、紅葉と市電のマッチがすごく綺麗に見えるようなスポットなど）
- ・トイレマップも観光のモデルケースの中に入れたらいいのではないか。
- ・モデルコースをやる時に、スタンプラリー方式にすればいいのではないか。

- 冊子の中で折り込む予定の交通局で作るパンフレット（市電沿線名所巡りマップ）とリンクさせながら冊子を作っていったらいいのではないかな。

【高石若手職員グループ】

- 全停留場沿線のマップと各停留場に分けたページを設けてその中で、停留場の近くのお店とかグルメとか商店、観光スポットなどを紹介して行く。
- タイトルに関しては、「停留場で降りてみよう」とか、「停留場を散策してみよう」とかの意見もあり。
- 最初に市電の概略という項目を作り、この中で市電の歴史について簡単に説明をしたり、マップに関しても簡単なレイアウト的なものも取り入れる。
- どこにどの停留場があるのかというのを最初に出して、その次に各停留場のスポットを各停留場ごとに項目を作って紹介する。
- 沿線のイベントの項目を設ければいいのではないかな。（地区を跨る大きなイベントもあるので、イベントは、停留場とは分けて載せたらいいのではないかな）
- スタンプラリーを載せたらいいのではないかな。
- 冊子の中で紹介するお店をポイント制にして、実際に足を運んだらなにか特典があるとかそういうものを冊子の中に紹介したらいいのではないかな。

【高木若手職員グループ】

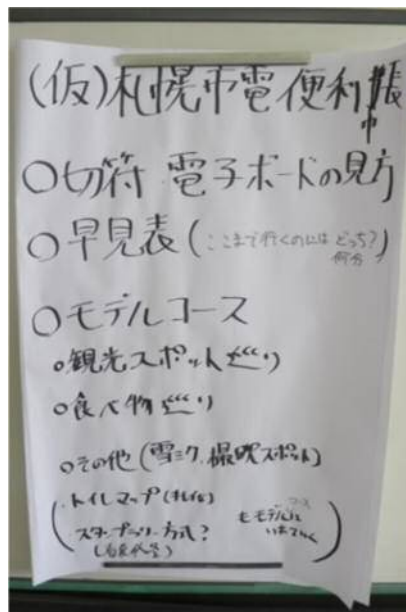
- タイトルは、「市電ぐるりの旅」というふうにした。
- 項目として車両の歴史。（昔の車両から今、実際に走っている車両の紹介）
- 沿線のイベントカレンダーということで何月何日にこういったイベントが行われているのかとそういったカレンダーを載せたらいいのではないかな。
- 新旧今実際に走っているいろんな車両の種類を制覇するという旅のスタンプラリーがいいじゃないかな。
- 沿線の健康マップということで、沿線にある病院とかウォーキングの拠点、スポーツ施設とか、こういった健康に基づくようなマップがあるといいじゃないかな。
- 運転手さんのお勧め情報ということで、運転手にインタビューをして、

例えば沿線にあるお勧めのお店の話や勤務をされていて感動した話などがあれば、そういうことを記事にして載せたりする。

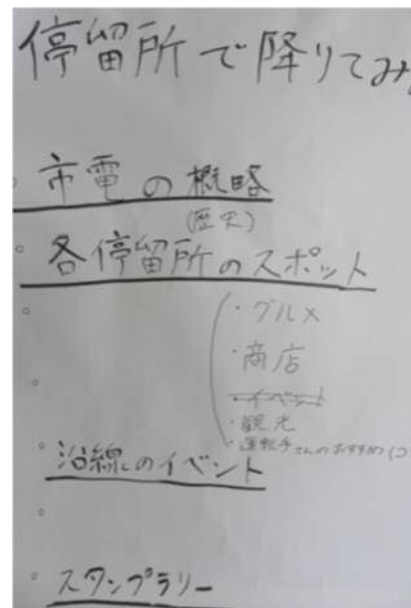
- ・ 乗り継ぎの案内とかがあればいいのではないか。(他の交通機関との乗り継ぎの案内、円山のロープウェイのシャトルバスの乗り継ぎの案内など)

(参考)各グループの意見が模造紙に書かれて発表された

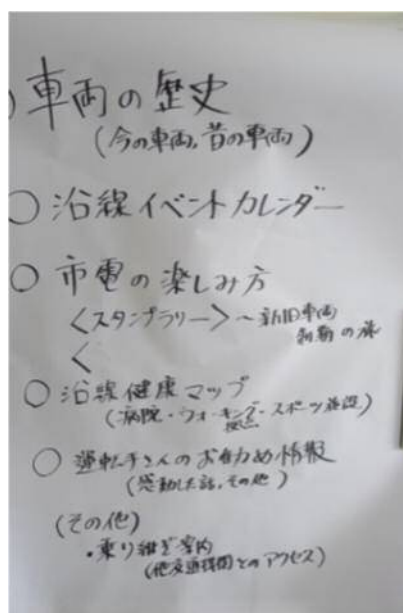
【横山班グループ】



【高石班グループ】



【高木班グループ】



第3回市電部会から

- ・ 毎回、いろいろな意見が出ているが、これらの意見を集約して、この部会では、これを提案するというものもあっていいのではないか。
- ・ 観光客(外国人)がこれからどんどん増える傾向にあることから、外国語表示などを増やす必要がある。
- ・ 市電冊子をいち早く作り、QRコードなどを付けて、インターネットでつなげられるようにする。そうすることで、より多くの人に周知することができる。
- ・ 駅前通において、駐車場がどこにあるのかが分かりにくいので、表示案内等を徹底してほしい。

貸切電車イベントから

第1回貸切電車イベント（高校生と意見交換）

- ・ 市電乗り放題を利用して、沿線での広い範囲の街コンを開催。
- ・ 沿線のお店とコラボして貸切電車ですぐ結婚式をやったらどうか
- ・ 市電沿線の路地裏などには、大変趣のあるお店があるので、好きな人を対象にSNSなどで宣伝してはどうか。
- ・ 市電を日本ハムファイターズの選手やポケモンでラッピング。

第2回貸切電車イベント（市電沿線関係者と意見交換）

- ・ 沿線の住人以外は市電を知らない人が多いので、PRを工夫した方がいいのではないか。
- ・ トイレ付や座席が外を向いた貸切電車専用車両を作る。
- ・ 大きなイベントに合わせて貸切電車を実施し、そのイベントで宣伝する。
- ・ 藻岩山ロープウェイと協力してセットの優待券を作成して街中で販売する。
- ・ サイクルシェアのポロクルとイベントでコラボ。

※この貸切電車イベントについては、来年度以降、アクションプランの計画事業（新規事業）として実施される予定です。

4 平成 28 年度市電部会の予定

平成 27 年度は、活動、意見交換などを通して、市電の魅力や課題等についてある程度洗い出せたのではないかと考えます。

平成 28 年度は、28 年度の終わるか 29 年度の早い時期に市電の冊子を発行する予定であることから、冊子の作成のプロジェクトをつくって、冊子の案を作り、それに対して部会で意見をいただく予定です。さらにループ化後の市電や沿線に関する情報についても報告をいたします。

また、学校、企業、商店街、施設などと連携し、現地視察などの活動も積極的に進めていきたいと考えています

中央区市民部地域振興課
TEL011-205-3221